

広報

No.142

くらがし

昭和60年4月15日

発行・編集 国見町企画課

※※※※※
おもしろ内容
※※※※※

昭和60年度予算決まる……………	2～4
ふるさとの文化財……………	5
テニスコートがオープン……………	6
佐藤雅子ちゃん優秀賞……………	7
町職員の人事異動・役場組織表…	8～9
おしらせ……………	10～11
公民館だより……………	12～13
わだい……………	14

'85

4月

“カタクリ”

カタクリは古く万葉集にも詠まれ、山野に春を告げる可憐な花です。(貝田地区で)



23億4,500万円

昭和60年度一般会計予算

昭和六十年度の町予算が、去る三月十一日、町議会で議決されました。

一般会計の予算総額は二十三億四千五百万円で、前年度当初予算と比べると、四億三千万円の増、率にして二二・五%の増となりました。

この中で、今年度は県北中学校の改築、町民プールの建設などが、重点事業として挙げられます。

歳入

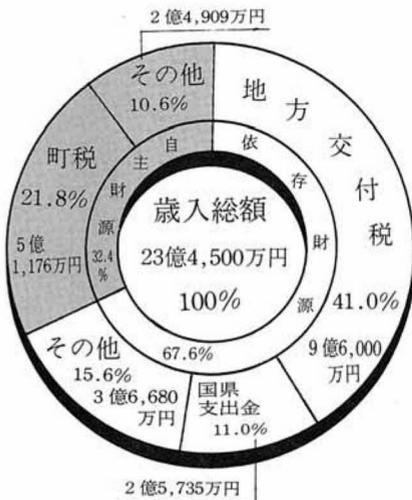
歳入の四一%を占める地方交付税は、前年度当初予算を二・三%上まわりました。

町債および国庫支出金は、県北中学校の改築および町民プール建設のための補助金と起債が主なもので、それぞれ大幅な伸びとなりました。

県支出金については、浄化センター1周辺対策事業の推進に伴う補助金が主なものです。

自主財源は三二・四%

歳入予算を自主財源(町が収入額を見積り、賦課徴収するなど、自主的に確保できる収入)と国県等依存財源(国や県などから定められた額を交付されたり、割当てられる収入)とに分けると、自主財源は、構成比で前年度より二・六%高い三二・四%となっています。



町税の内訳



税の負担

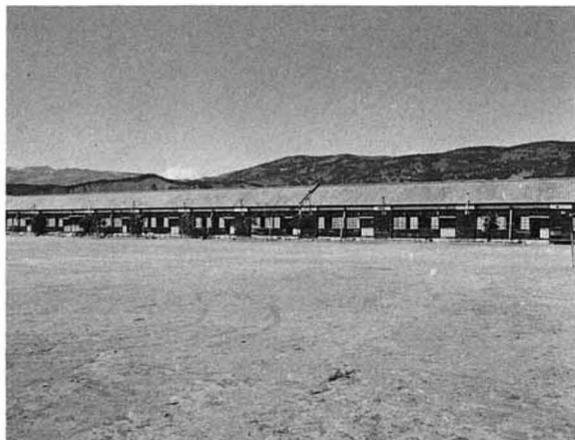
固定資産税

一世帯当り
68,725円

個人町民税

1人当り
14,885円

4,497万円
3,093万円
その他 2.0%
1,049万円



60年度重点事業 県北中学校改築

歳出

今年の歳出の割合は、下表のとおりになっています。

構成比の高いものからみてみますと、教育費、土木費、総務費、衛生費、公債費、民生費、農林水産業費の順となっています。

前年度と比較して、一五九・八%の伸びとなった教育費は、県

北中学校改築、町民プール建設費であり、浄化センター対策費については、前年は農業対策として農林水産業費に計上しましたが、今年度は下水道課の新設に伴い、一括して土木費に計上しましたので一九・九%の伸びとなり、一方、農林水産業費は三七・四%の減となりました。費目ごとの主なものを挙げました。

教育費



- ▶ 県北中学校改築事業 3億 5,806万円
- ▶ 運動公園施設整備費 1億 303万円
(町民プール、町民プール夜間照明、テニスコート夜間照明)
- ▶ 町民体育館屋根補修工事 1,097万円
- ▶ 公民館施設管理運営費 1,044万円
- ▶ 三町給食センター分担金 4,205万円

土木費

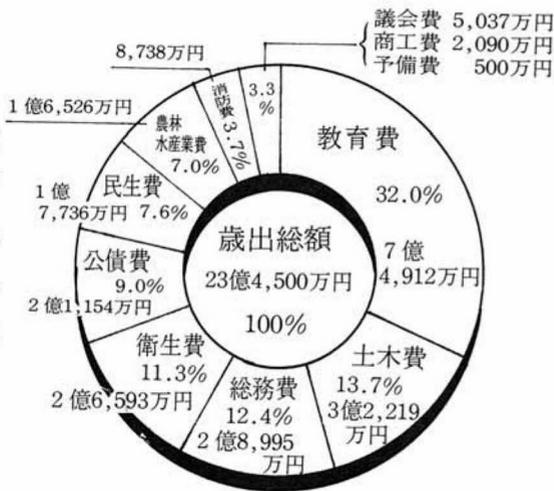


- ▶ 町道整備費 1億 3,347万円
- ▶ 下水道浄化センター対策費 8,194万円
- ▶ 道路橋梁維持管理費 3,565万円
- ▶ 河川整備費 2,136万円
- ▶ 公営住宅維持管理費 383万円

総務費



- ▶ 交通安全対策費 563万円
- ▶ 地域総合振興費 400万円
- ▶ 事務事業改善費 229万円
- ▶ 広報く に み発行費 168万円
- ▶ 自治振興推進費 115万円



衛生費



- ▶ 老人保健対策費 2,268万円
- ▶ 各種検診事業 872万円
- ▶ 各種予防接種 264万円
- ▶ 公立藤田総合病院負担金 1億 5,475万円

公債費



- ▶ 町債元利償還金 2億 1,154万円

民生費



- ▶ 児童手当交付金 2,496万円
- ▶ 重度心身障害者医療費扶助 800万円
- ▶ 老人家庭奉仕員設置事業 317万円
- ▶ 長寿を祝う事業（敬老会・敬老祝金） 317万円
- ▶ 乳児医療費扶助 260万円
- ▶ 老人クラブ活動助成費 100万円

農林水産業費



- ▶ 伊達西部土地改良事業 1,563万円
- ▶ 林道の整備事業 1,545万円
- ▶ 育苗センター増設事業 1,280万円
- ▶ 河川工作物関連対策事業 880万円
- ▶ 伊達地域営農団地農道整備事業 487万円

消防費



- ▶ 伊達地方消防組合負担金 6,590万円
- ▶ 防災行政無線の運用 179万円
- ▶ 消防団機械器具の整備 115万円

商工費



- ▶ 中小企業振興預託金 600万円
- ▶ 商工会館建設費助成 500万円
- ▶ 商工会運営助成 400万円

その他の特別会計

会計名	本年度額	前年度額	比較
潟水対策施設	4,750万円	4億2,024万円	△3億7,274万円
国民健康保険	5億9,000万円	5億5,600万円	3,400万円
貝田簡易水道	1,182万円	1,068万円	114万円
育英	642万円	631万円	11万円
入山財産区	622万円	732万円	△ 110万円
藤田財産区	535万円	521万円	14万円
大木戸財産区	50万円	55万円	△ 5万円
町老人保健	4億3,692万円	4億4,345万円	△ 653万円

水道事業会計

科目	本年度額	前年度額	比較	
収益的	収入	1億4,314万円	1億3,645万円	669万円
	支出	1億1,584万円	1億1,305万円	279万円
資本的	収入	0	0	0
	支出	415万円	480万円	△ 65万円

資本的収入額が資本的支出に対して不足する額415万円は過年度分損益勘定留保資金で補てん

ふるさとの文化財

町指定有形文化財(古文書) ⑬

伊達晴宗判物 伊達政宗書状 菊池利雄

近世における羽州街道の宿駅、小坂宿に置かれた旧口留番所富塚弘家には、伊達晴宗判物および伊達政宗書状各一通が伝蔵されている。

富塚家は東北の雄族大名仙台藩に仕えて、宿家老(家老職を世襲する家柄)を務めた伊達氏譜代の名門で家譜によれば源姓、先祖が出雲国(島根県)の富塚郷に住し、在郷の地名をとって姓とした。源平の合戦に富塚隆継は平知盛に従って戦い、壇ノ浦に平家が亡んだ後は、日向国(宮崎県)のあだりを半流していたが、のち東国に下向し伊達朝宗に仕えて、伊達郡の森山邑を下賜されて住した。

天文期にいたり富塚氏の所領は、本貫の森山郷をはじめとし、下長井庄洲島(現山形県川西町)

や、上長井庄矢ノ目(現山形県高畑町)など伊達領の各地に広がりがみられ、富塚仲綱は奥州守護伊達輝宗の宿老として、『塵芥集』の奥に連署するなど、最盛時を迎えるが、ほどなくおこった伊達氏の内紛天文の乱に、仲綱は陣中に戦死し、伊達晴宗によって所領は没収されて、没落の危機にたたされたが、家臣の佐久間内蔵介・斎藤基内に伴なわれた仲綱の遺子亀松は、三春に奔って撫育され乱後懸田侯宗のとりにしによって、旧領森山郷を回復し家名を再興した。

富塚亀松は長じて名を宗綱と改め、伊達輝宗の時に宿家老に復帰し伊達政宗の二代に仕えている。天正十九年豊臣秀吉の奥羽仕置により、伊達郡は蒲生氏領となり富塚氏は森山城を去つて、栗原郡一迫真坂城(一五〇〇石)に移り、宗綱の孫富塚重信の代には、宇田郡駒ヶ嶺城も預かり二五〇〇石に増加されている。重信の孫富塚重標の代にいたり罪を得て家禄を没収され、富塚の本宗家は亡んだ。重標の子富塚光義は五〇石で再興を許されるが、延享五年他国追放の処分が付されている。

小坂の富塚家は光義の後裔で、天明六年(一七六八)富塚良助以降小坂口留番所役を世襲して

幕末におよび、いまも「御番所」と呼ばれている。

標記の古文書は、本来富塚本宗家に伝えられた文書の一部と思われ、晴宗判物は天文十八年(一五五〇)七月、富塚仲綱の所領を没収して小梁川大炊に与えた所領の宛行状。政宗書状は天正十五年(一五八七)九月、伊達成実(五郎)に宛てたもので、いずれも戦国期における伊達氏の動行を伝える貴重な史料である。昭和六十年三月町の重要文化財(古文書)に指定された、町内唯一の中世文書である。

参考文獻
国見町史、伊達世臣家譜



身近にある野草・薬草

⑩

つくし・すぎな

北海道から九州まで広く自生しますが、九州南部では少なく、屋久島には、まれにしかありません。「つくしだれの子 スギナの子」と童謡にうたわれていますが、本来つくしとスギナの間に関係はありません。

ともに同じ根茎から出る多年草で、つくしは胞子を生じて繁殖を担当し、スギナは栄養面を担当します。

春早く地上に出てくるつくしは、淡黄褐色で、先が筆の穂のようにふくらみ、繁殖のための胞子を飛び散らせたあと、すぐ枯れます。間もなく、その付近から緑で、枝分かれたスギナが芽を出し、夏には最盛期となって繁茂します。葉は退化して鱗片状になり、緑の部分は枝です。枝は葉緑素を含み、デンプンなどの栄養分を作り出し、地下の根茎に蓄えます。



▼薬用▲
採取法 スギナの地上部をとって水洗後、日干しにします。

利尿に 一日量三〜十グラムを水三百ccで少量に煎じて服用します。

解熱・せき止めに 右と同様に用います。

▼食用▲
採取法 手でつみとりします。

料理 はかまをはがし、まだ胞子の残っている頭は粉っぽく苦いので捨て、茎だけにして軽くゆで、汁の実、白あえ、みそあえ、ごまあえ、卵とじ、油いため、つくだ煮に。生のまま干してお茶にしてもいいです。

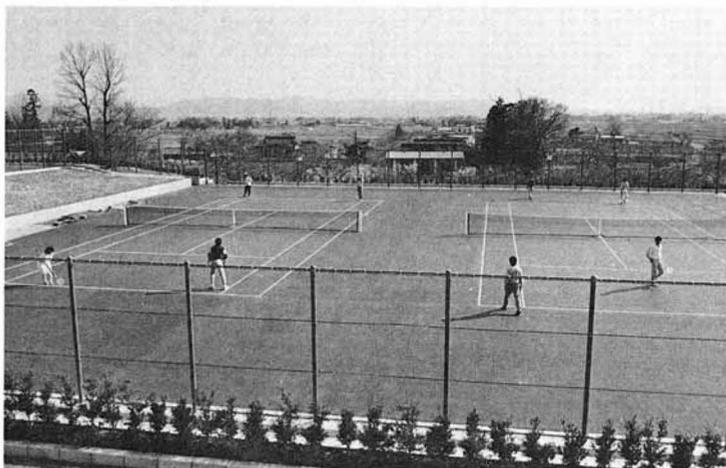
・つくしごはん
ゆでて、だし、しょうゆ、みりんで味つけたつくしを、炊き上がったごはんに乗せます。
(山野草カラー百科から)

国民年金積立金還元融資施設の

テニスコート

オープン

（四月一日）



▲待望のテニスコートがオープンし、汗を流す利用者のみなさん

「国見町運動公園」（森山字上野台）に、全天候型テニスコート四面が完成し、四月一日にオープンしました。
前月号でも紹介しましたが、使用方法など、再度紹介いたします。

一、使用申し込み

団体専用使用（五名以上）の場合には、申請書を五日前まで勤労者体育センターに提出してください。個人使用は直接同所に申し込みください。

二、使用時間など

月曜日（月曜が祝日のときはその翌日）と年末年始（ 〇 ）は休みです。使用時間は午前九時から日没までです。

三、使用料

個人使用
大人一人、一時間で百円
高校生以下は五十円

・専用使用（五名以上の団体）
一面二時間で千円

四、使用上の注意

・ラケット、ボールは、個人で準備してください。
・原則としてはき物は、テニスシューズとします。服装は運動をするのに適したものとします。

・土足でコート内に入ることはいくつか禁止いたします。

※なお、詳しいことは公民館にお問い合わせください。

教職員の人事異動

四月一日付（ ）は旧任

退職

▽原谷真理子（大木戸小）

転出

転入および新採用

渡辺正直

- ▽保原町立柱沢小校長（小坂小） 校長 湯浅伊佐夫
- ▽福島市立岡山 校長（飯館村立飯館中学校） 佐久間宗平
- ▽平田村立永田小校長（東北中） 市立福島一中 遠藤幸吉
- ▽教頭（黒須四郎） 桑折町立半田醸芳小（藤田小） 蓬田ゆみ子
- ▽伊達町立東小（藤田小） 佐藤佳子
- ▽保原町立上保原小（藤田小） 遠藤トヨ子
- ▽梁川町立梁川小（藤田小） 山本恒雄
- ▽梁川町立梁川小（小坂小） 村上久美子
- ▽川内村立川内第三小（森江野小） 芝田俊久
- ▽山市立守山中（森江野小） 遊佐智子
- ▽福島市立茂庭中（東北中） 黒澤美智子
- ▽福島県立福島高（教委派遣社会教育主事）
- ▽小坂小校長（常葉町立西向小） 校長 湯浅伊佐夫
- ▽飯館村立飯館中学校 佐久間宗平
- ▽東北中教頭（福島市立福島一中） 遠藤幸吉
- ▽梁川町立梁川小 佐藤トシエ
- ▽藤田小（大枝小） 加藤久嗣
- ▽藤田小（新採用） 上石佳子
- ▽小坂小（伊達町立東小） 遊佐真紀子
- ▽森江野小（檜葉町立檜葉南小） 高橋徹
- ▽森江野小（古殿町立竹貫田小） 富田弘子
- ▽大木戸小（常葉町立常葉小） 石田清美
- ▽東北中（喜多方市立喜多方第二中） 安田由美子
- ▽東北中（郡山市立安積中） 国井信子

佐藤雅子ちゃん 優秀賞

第二十一回学研全国児童才能コンテストで、森江野小学校一年（現在は二年）の佐藤雅子ちゃんは、「朝顔の観察」（絵日記と文で構成）を出品し、理科部門優秀を受賞しました。



▲賞状を手に喜びの雅子ちゃん

「毎日観察し、つるの長さ、花の数、葉の数などを絵日記にし、九月に行われた伊達地区理科作品展に出品しました。」
伊達地区から、県展には、雅子ちゃんの作品が一点だけ出品され、県展でも小学一年生では一人だけ、全国展に推せんされ、今回の受賞となったのです。
「毎日素朴な観察を続け、そ

の努力が認められ、大変うれしく思います。」と担任の池田先生は語ってくれました。

県立博物館の 展示作品物 製作進む

製作進む

会津若松市の鶴ヶ城地内に建設中で、昭和六十一年度にオープン予定の県立博物館では、オープン後の来館者に、戦時中の婦人の標準服や農作業の襦袢、また、今ではほとんど見られなくなったわらじや蓑（かさ）などを実際に着てもらったり、履いてもらったりする体験学習コーナーを設けるため、県内各地から収集作業を行っています。

三月下旬、県教育庁文化課文化施設整備室の大内寛隆専門文



▲反物を裁つ菊池よし子さん(右)と穴戸きよ子さん

お願いしている石母田西の斎藤邦一さん（荷負い蓑、雨蓑、わらじ、わらぐつ、たんから）、菊池昌二さん（米俵、蓑）、菊池よし子さん、石母田北の穴戸きよさん（農作業の襦袢、巡礼の浄衣など）の作業進行状況を視察しました。



▲蓑をなう斎藤邦一さん



▲出来あがった米俵と菊池昌二さん

大木戸駐在所



大内巡查部長

大内巡查部長が赴任

三月二十九日から、大木戸駐在所に、小石川さんの後任に大内巡查部長が赴任しました。

大内さんは、桑折警察署の半田地区担当からの転任で、剣道、柔道がそれぞれ三段、また空手一級の五十三歳。三十二年勤務の大ベテランで温厚な人柄です。地区の皆さん、よろしくお願ひします。

藤田駐在所



関根巡查

橋本さんは藤田、関根さんは小坂、山崎（一部）を担当します。地区の皆さん、よろしくお願ひします。



橋本巡查部長

橋本巡查部長・関根巡查が赴任

三月二十九日から、藤田駐在所に、高橋さんの後任に橋本憲一巡查部長、また、小坂、山崎担当の菅野巡查が森江野担当にかわり、その後任に関根哲也巡查がそれぞれ赴任しました。

駐在所の人事異動

下水道課を新設

町職員の人事異動

4月1日付

お世話になりました



退職された
佐藤知子さん

よろしくお願ひします

町職員の人事異動が四月一日付で発令されました。

今年には佐藤知子住民課長が退職、一方、新採用八名が決まりました。

()内は旧任



菊地弘美君



遠藤八重子さん



阿部正一君



吉田義勝君



松浦利枝さん



岡部正子さん



武田正裕君



佐藤克成君

退職
▽佐藤知子(住民課長)

新採用

▽吉田義勝(税務課)

▽阿部正一(建設課)

▽遠藤八重子(総務課)

▽菊地弘美(保健課)

▽佐藤克成(税務課)

▽武田正裕(教育委員会)

▽岡部正子(藤田保育所)

▽松浦利枝(東北中学校)

異動および昇格 ()内は旧任

▽総務課長(税務課長) 八島忠雄

▽下水道課長(建設課長) 武田喜男

▽住民課長(議会事務局長) 松浦幸雄

▽保健課長(総務課長) 大内正美

▽議会事務局長(水道課長) 大波健

▽水道課長(保健課長) 大浪健男

▽税務課長(教育次長) 鈴木捷治

▽建設課長(建設課建設係長) 清水良男

▽教育次長(総務課庶務係長) 佐藤春夫

▽総務課庶務係長(住民課福祉係長) 須田善治

▽総務課財政係長(税務課賦課係長) 佐竹弘治

▽産業課産業係長(総務課財政係長) 佐野貞治

▽保健課(保健課戸籍住民係長) 春日一憲

▽住民課戸籍住民係

長(産業課農地係長) 高橋正夫

▽住民課福祉係長(建設課都市整備係長) 佐久間靖明

▽建設課管理係長(企画課広報広聴係長) 原田金藏

▽税務課賦課係長(産業課産業係長) 佐藤則雄

▽企画課企画係長(保健課国保係長) 小野智義

▽産業課農地係長(公民館事業係長) 吉田孝夫

▽公民館事業係長(建設課下水道係長) 吉田貞男

▽建設課都市整備係長(教委社会教育係長) 高橋弘信

▽建設課建設係長(企画課企画係長) 後藤澄雄

▽企画課広報広聴係長(税務課賦課係主査) 松浦京子

▽下水道課下水道係長(建設課下水道係主査) 吉田吉夫

▽教委社会教育係長(産業課産業係主査) 八巻忠義

▽産業課産業係(税務課賦課係) 安藤信男

▽保健課保健衛生係(住民課戸籍住民係) 高橋喜久

▽議会事務局(総務課庶務係) 渡辺アヤ子

▽下水道課下水道係(建設課建設係) 遠藤喜正

▽住民課戸籍住民係(教委学校教育係) 松田きよ江

▽教委学校教育係(議会事務局) 武田京子

▽総務課庶務係(保健課保健衛生係) 羽根田孝司

▽税務課賦課係(同固定資産係) 蓬田英右

▽総務課庶務係(産業課産業係) 松浦英夫



2階に配置替えした企画課



新設された下水道課(2階)

国見町職員組織表

昭和60年4月1日現在

町長	菊地 政治	助役	渡部 直人	収入役	佐野 正治
	☎85-2111-85-2115	公民館	☎85-2676	体育センター	☎85-5370 保育所
					☎85-2374
課名	課長	係	係長	係	
総務課	八島 忠雄	庶務係 財政係 文書係	須田 善治 佐竹 弘治 小池 芳男	羽根田孝司、遠藤八重子、松浦英夫、斎藤隆義、国分次雄 古川 正、鴨田栄一、(佐藤 孝) 菊地富子 吉田恵子、佐藤秀雄	
企画課	赤坂 正勝	企画係 広報広聴係	小野 智義 松浦 京子	谷津富夫 佐藤和夫	
税務課	鈴木 捷治	賦課係 固定資産係 徴収係	佐藤 則雄 菊地 孝吉 古川 比司	武田幹夫、蓬田英右、吉田義勝 武田 智、佐藤克成 菊地軽子	
住民課	松浦 幸雄	戸籍住民係 生活環境係 福祉係 年金係	高橋 正夫 井砂 研二 佐久間靖明 佐藤 光一	八巻美枝子、松田きよ江、大波和浩 佐藤弘利 中野孝雄、引地 真 (ホームヘルパー) 高橋直子、八島知子 引地由則	
保健課	大内 正美	保健衛生係 国保係	佐藤 幸子 春日 一憲	高橋喜久、菅原文子、蓬田恭子、菊地弘美 小西春彦	
産業課	吉田 貞造	産業係 農地係	佐野 貞治 吉田 孝夫	吾妻正子、阿部 正、安藤信男、渋谷和洋、佐久間 正 安田博三	
建設課	清水 良男	建設係 管理係 都市整備係	後藤 澄雄 原田 金蔵 高橋 弘信	大波サト子、八島英雄、佐野 功、阿部正一 菅野信朗、佐藤一郎 八巻秋夫	
下水道課	武田 喜男	下水道係	吉田 吉夫	遠藤喜正	
出納	(収入役)		吉田 輝雄	武田友江	
議会事務局	大波 健			渡辺アヤ子、後藤浩子	
教育委員会	佐藤 春夫 (次長)	学校教育係 社会教育係	吉田 俊江 八巻 忠義	武田京子 武田正裕	
公営企業水道課	大浪 敏男		山田 久	谷津美代子、佐藤軒二、佐藤光男、赤坂 斎	
公民館	館長 渡辺 等	事業係	吉田 貞男 奥山 隆夫	武田慶子、佐藤政弘(社会教育指導員) 牧野武夫	
国見勤労者 体育センター	所長 渡辺等				
保育所	所長 大沼 勉		天野 英子	木口絹子、後藤登美子、後藤加代子、吉田邦子、岡部正子 (調理員) 大沼イト、木村竹子	

※来月号へつづく



国見町 防霜対策本部 を設置

町では、果樹などの農作物を
運霜から守るため、町の関係農
業団体が町防霜対策本部（本部
長、菊地政治町長）を四月十二
日に設置しました。

霜が降りる恐れがある場合は、
本部から広報車、有線放送で広
報いたしますが、深夜にわたる
場合が多く、ご迷惑かと思いま
すが、ご協力くださるようお願い
いたします。

なお、降霜の時は重油などを
燃焼するため、黒煙が町全体に
広がる恐れがありますので、翌
朝は洗たく物などに十分注意し
てください。

運霜の被害を最少限にするた
め、町民皆さんの協力を願
いたします。

※期間は四月十二日から五月三
十一日までです。

防霜対策本部班編成

◎は班長

班	氏名	電話番号	班	氏名	電話番号
1	◎佐野 治吉	85-54177	5	◎渡谷 和洋	85-38410
	小穴 戸幸	85-53178		山 貴博	85-43435
2	◎吉田 李豊	85-23377	6	◎安田 二夫	85-49006
	高橋 夫寿洋	85-33376		藤久 光栄	85-46540
3	◎阿部 正功	85-44804	7	◎佐久 正雄	85-44622
	大小 裕信	85-43742		谷川 渡	02212(8)2207
4	◎安古 藤内	85-33388			
	古松 新一	85-44938			



●つりざおを持ったときは電線に注意

⚡ 東北電力

身体障害者 補装具相談会の お知らせ



補装具相談会が、左記日程で
開催されますので、補装具など
で困っていることがありましたら
ご利用ください。

- 一、相談会の内容
- 補装具処方相談
- 二、日時および場所

五月七日（火）九時半～十二時
公民館（第一・第二会議室）
三、持参するもの
身障手帳（戦傷手帳）・保険
証・印鑑

労働保険の 年度更新の お知らせ



昭和六十年年度の労働保険の年
度更新をする時期がまいります
た。

四月初めに局、または県から
送付される申告書用紙と記入要
領をよくお読みいただいて、
五月十五日までに

自主申告、自主納付

を最寄りの金融機関、郵便局、
労働基準監督署、福島労働基準
局または県雇用保険課にされま
すようお願いいたします。また、
期日までに申告できるという
貸金台帳など
を整備しておかれるようお願い
いたします。

「若人の翼」 団員を募集



- 一、募集人員 七十八名
- 一般団員 七十二名
- 班長 十二名
- 二、応募資格

〔国籍・年齢〕
日本国籍を有し、県内に居
住している者で生年月日が
次に該当するもの。

班長
昭和二十四年四月二日から
昭和三十年四月一日ま
でに生まれた者

一般団員
昭和三十一年四月二日から
昭和四十年四月一日まで
に生まれた者

〔社会参加活動など〕
班長
青少年育成活動にかか

優れた青年指導者。
一般団員
青少年団体・グループな
どに加入し、現に活動し
ている優れた青年。

三、派遣種類
欧州・マレーシア、南米、中国、
韓国・マレーシア

四、応募方法
「若人の翼」申込書などの
書類をそろえ、四月二十五
日までに町教育委員会に提
出してください。

※なお、くわしくは町教育委員
会（☎八五二二二）へお
たずねください。

踏切に ご注意!!



国鉄保線区では、線路の整備
車両として、マルチプルタイタ
ンター（黄色の車両）を運行し
ています。

この車両は、絶縁車両のため、
踏切の警報が鳴らず、また、し
ゃ断機も降りませんので、十分
注意してください。

踏切を通過するときは、必ず
いったん停止して、左右を確認
して通過してください。

善意の窓

町社会福祉協議会に

◆佐藤政一さん(小坂)から
五万円・故スイさんのご遺志

◆菅野正右さん(駅前)から
二万円・故スガさんのご遺志

◆佐藤和夫さん(北部)から
二万円・故英治さんのご遺志

◆紺野金治郎さん(本町)から
五万円・故エイさんのご遺志

◆福島信用金庫から
三十万円

◆東北中学校に
昭和五十九年度東北中学校卒

◆業生一同から
ワイドプロセツサーー式

◆菅野正右さん(駅前)から

戸籍の窓口

(3月受付分)

出生おめでとうございます

子	名	保護者	部	落
翔一	太(しょうた)	横山 孝一	田	上町一坂田根坂
一康	平(いっぺい)	新井 豊一	部	折
	城(かすき)	佐藤 高橋	部	折
	裕(やすひろ)	高橋 伸一郎	部	折
	潤(じゆん)	齋藤 渡部	部	折
	酒紀子(ゆきこ)	渡部 高野	部	折
	由唯史(ただふみ)	高野 惠一	部	折

ご結婚おめでとうございます

氏	名	部	落
石	利子	田	四町前部
松	礼俊	部	折
羽	正満	部	折
玉	手	部	折
菊	地内	部	折
古	木々	部	折
佐	木間	部	折
佐	藤巻	部	折
八	藤巻	部	折
佐	藤巻	部	折
氏	名	部	落
菊	高宮	部	折
我	我	部	折
決	決	部	折
佐	佐	部	折
八	八	部	折
三	三	部	折
菅	菅	部	折
滝	滝	部	折
佐	佐	部	折

おくやみ申し上げます

氏	名	年齢	部	落
菊	高宮	50	部	折
我	我	57	部	折
決	決	75	部	折
佐	佐	87	部	折
八	八	85	部	折
三	三	72	部	折
菅	菅	83	部	折
滝	滝	84	部	折
佐	佐	49	部	折
八	八	83	部	折
三	三	82	部	折
菅	菅	51	部	折
滝	滝	72	部	折
佐	佐		部	折

◆協賛会福島支部から
黄色い帽子百五十個

◆明るい社会づくり運動福島県
各小学校に
一万円・故エイさんのご遺志

◆紺野金治郎さん(本町)から
二万円・故エイさんのご遺志

◆菅野昭雄さん(大町南)から
二万円・故スガさんのご遺志

◆美さん(美)の卒業記念として
美さんご遺志

◆菅野正右さん(駅前)から
二万円・故スガさんのご遺志

◆紺野金治郎さん(本町)から
二万円・故エイさんのご遺志

◆藤田保育所に
一万円・故エイさんのご遺志

◆百葉箱こいのフェンス(十
二万円)

◆昭和五十九年度藤田小学校卒
業生一同から

◆紺野金治郎さん(本町)から
二万円・故エイさんのご遺志

◆藤田小学校に
昭和五十九年度藤田小学校卒

SDカードは安全運転者のあかし



ドライバーの皆さん、「SDカード」をご存じですか。「SD」とは「Safe Driver」の頭文字をとったもので、安全運転者という意味です。このカードは、国家公安委員会の認可法人・自動車安全運転センターが、皆さん方の「無事故・無違反証明書」または、「運転記録証明書」の交付の申し込みに応じて、過去一年間以上無事故、無違反の方にお渡しするものです。

つまり、SDカードを持っていらっしゃる方は、優良ドライバーといえるでしょう。

ええ。一人でも多くのドライバーに、このカードを手にしてもらい、安全運転者としての誇りと自覚を持って規範的な運転をさせていただこうというものです。

SDカードは、最近学校や会社などからの申し込みも増え、交通事故や違反の防止に効果を挙げています。また、就職の際に履歴書に添えるなどいろいろな面に利用されています。

SDカードを利用される方は自動車安全運転センターに申し込みてください。

証明書の申し込み手数料は一通六百元です。申し込み用紙はセンター事務所、警察署、派出所、駐在所に備えてあります。詳しいことは、福島県自動車安全運転センター事務所(九一四一〇二)へお問い合わせください。

人口と世帯

4月1日現在(前月比)3月中のうごき

男	5,829人 (-18)	転入	57人
女	6,150人 (-26)	転出	95人
計	11,979人 (-44)	出生	7人
世帯数	2,870戸 (±0)	死亡	13人

おめでとう

4月 卯月(うづき)	5月 皐月(さつき)
18日(木) 発明の日	1日(水) メーカー
20日(土) 通信記念日	3日(金) 憲法記念日
郵便週間	5日(日) こどもの日・立夏
23日(火) ふみの日	10日(金) 愛鳥週間
29日(月) 天皇誕生日	12日(日) 母の日

心配ごと相談日

場所: 役場二階相談室 (東側入口からお入り下さい)
時間: 9時~12時
こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対を守ります。
[相談員]
4月25日(木) 曳地 善作・佐藤マサイ
5月4日(土) 佐久間 巖・高橋 恵子
5月15日(水) 樋口 弘・朝内 ひで



国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

社会教育指導員として活躍された、阿部峯生さんが三月三十一日付で退職されました。後任として、牧野武夫さん(大町北・64歳)が四月一日付で任命され、高齢者教室、成人学級を中心に社会教育活動を行います。よろしくお願ひします。

退任のごあいさつ

阿部峯生



三月末日をもって退任することになりました。

学校教育の場から、社会教育の場へと仕事の場を変え二年間いろいろと勉強させていただきました。

その間高齢者教室と、成人学級を担当してまいりましたが、経験不足と不勉強のため満足の行くような事ができず、とまど

いを感じたこともございましたが、教育長さん始め社教主事の先生、館長さん並びに公民館職員の方々のご指導とご協力をいただき、なんとか自分と与えられた責を果たすことができました。

公民館での経験は、私にとつて非常に貴重なものであり、また、たくさんの方々とお会い、そのふれあいの中から何かとご指導をいただきましたことは、私の人生経験に大きなプラスとなりました。

これからはこの公民館で得たものを生活の中に生かし、充実したものにしよう努めて行きたいと思ひます。

最後に、国見町の社会教育のますますの進展をお祈りいたします。

本当にお世話になりました。

就任のごあいさつ

牧野武夫



前職を離れて丸四年の間、のんびりと暮らしていた私に、降って湧いたような町社会教育指導員の話がとびこんでまいりました。

身体もなまり頭の回転も鈍くなりましてので、不適任だと固辞いたしました。が、どうしてもということでお引受けいたしました。

非才の私には重責ですが、皆様方のご協力、ご指導をいただいで全力投球をしたいと考えています。

平均寿命の伸びが著しい現代で、生涯教育はますます重要度を加えてきています。

福島県教育委員会の昭和六十年度の重点施策にも挙げられています。

皆さんとともに私も、国見町

民の一人として勉強したいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

民話の聞き取り 調査終える

先月末日から四月三日にかけて行われた、日本民話の会による町内の民話聞き取り調査は、各地域の方々のご協力により、予定通り無事終了。天気にも恵まれ、埋もれていた語り手の発見と共に、予想をはるかに上まわる成果を上げることができました。ご協力いただいた方々に、心から感謝申し上げます。

さて、調査は、三十一日の小坂を皮切りに、全部で、二十五集会所、参加部落四十、個人宅四ヶ所、話者延百十一人で行われ、三日間で種々な話を数多く聞くことができました。採集された内容は、昔語り、伝説、世間ばなしなど、併せて、六百七十七話。六〇分テープ五十九本分となりました。

三日間という短期間で、これだけ多くの話が採集できたことは、全国でもかなり珍らしい例で、国見町の昔話伝承の層の厚さに驚かされたとのことで、来町された松谷みよ子、遠藤庄治などの諸先生方に大変喜ばれま

した。なお、その折のテープや調査書は、全部コピーし、町の大切な資料として、今後役に立てることにしました。今後も折を見て調査が続けられますので、よろしくご協力ください。



▲なごやかに進んだ民話の聞きとり調査

テレビュー福島(T.U.F)で くにみの民話を放送

- とき 4月25日(木)
- 時間 10:55~ 街角からこんにちは
17:55~

皆さん、ぜひ、ご覧ください。

昭和六十年 学級生を募集

公民館では、昭和六十年年度
の学級を開講し皆様をお待ちし
ております。

町民一人一人が、社会のなか
でそれぞれ役割を果たしながら、
各年代に応じ学習テーマを
見つけ仲間づくりをしましょう。

青年学級

定員 四〇名

期間 四月～三月

学習日 毎週木曜日

時間 19：30～21：30

対象 町内在住または勤務
の二十四歳までの青
年男女（学生も可）

活動内容 講義、話し合い、
スポーツ、レクリエ
ーション、野外活動
（キャンプ、オリエ
ンテーリングなど）
フリータイム

乳幼児学級

乳幼児時期の教育がその人
の一生を左右すると言われて
います。こどものすこやかな
成長と人間形成を旨として、



▲親子で仲良く学習

定員 三〇名

期間 五月～十二月

学習日 月一回水曜日十回

時間 13：30～15：30

対象 〇～三歳児をお育て
のお母さん、おばあ
さんなど

学習内容 乳幼児の心と身
体の発達・しつけ・
両親、祖父母の役割・
健康管理など

学習方法 講義・親子で学
習・ゲーム・話し合
い・遠足など

期間中託児所を開設いたし
ますのでお子さんだけでし

中央婦人学級

婦人の役割を考え、婦人教
養の向上と明るく豊かな家庭
づくりをめざして……

定員 四〇名

期間 五月～二月

学習日 二〇回・水曜日

時間 9：30～11：30

対象 町内在住する婦人



▲学習風景のひとつ

成人学級

社会に柔軟に対応できる知
識や教養を習得し、明るく豊
かな町づくりへ貢献しよう。

定員 四〇名

期間 五月～二月

学習日 十三回 水曜日

高齢者教室

高齢化社会に適応出来る柔
軟な心と豊かで健康な人間形
成をめざして……

期間 四月～三月

学習日 年間十六回

時間 主に9：30～11：30

対象 町内在住する60歳
以上の男女

バスケットクラブ 部員募集

対象者 一般社会人(男女)
会費 年間三五〇円(運営
費および傷害保険料)

練習日 毎週木曜日

時間 19：30～21：30

場所 勤労者体育センター

申込先 吉田篤夫(五十二三〇二)

町民講座

「食品添加を考える」
開催される

名残り雪には、多すぎる大雪
の中、三月二十七日、午後一時
三十分から公民館で開催されま
した。

当日はあいにくの悪天候にも
かわらず約二十名が出席、県
消費生活センターの和田山利明
先生を講師に迎え、食品添加物
の基礎知識を最初映画で観察し
た後、先生の講演を熱心に聞き
ました。

①消費者の立場として商品の
表示を良く見て品質規格を知る。
②できるだけ手作りの食事をす
る。③ある食品を集約的に食べ
続けられないで多種類の食品を食
べるなどの注意がありました。

公民館職員 の人事異動

()内は旧任
お世話になりました

農地係長 吉田孝夫 (事業係長)
よろしくお願ひします

事業係長 吉田貞男 (建設課都
市整備係長)

ひな人形の巻物
青年教室の巻物から、木目込み
のひな人形を三月十四日の閉講式
の際に館長に手渡され、青年学級
食の二月に開いた盆会で購入した
食の、昨年のこの日に授けら
れた巻物で、男女の節句の飾りがそ
ういふ巻物で、どうもありがとうございました。



地域懇談会が 開かれる

三月二十二日午前十時三十分から、役場会議室で、国見町地域懇談会が開催されました。東北電力が主催となって開かれたもので、東北電力から十一名、町からは菊地町長はじめ助役、収入役、各課長、また曳地



▲活発に意見が交換された懇談会

商工会長ら各界代表二十六名が出席しました。
林和郎東北電力株式会社福島営業所長のあいさつのもと、菊地町長が「日夜、電気の供給に尽力されている皆さんに感謝いたしますとともに、本日の懇談会を、住み良い町づくりの一助としたい」とあいさつを述べました。
このあと懇談会に入り、電力についての質問や要望などが盛んに交わされました。

盛大に 落成を祝う

国見町商工会館

国見町商工会館の落成祝賀式典が、三月二十六日午前十一時から町民体育館で行われ、各界の代表約百五十名が出席し、落成を喜び合いました。
式典は、曳地善作町商工会長の式辞のあと、本田吉助副会長が経過を報告、そのあと工事関係者に感謝状を贈呈しました。
菊地政治町長、賀藤貞町議会議長らが祝辞を述べました。
このあと祝宴に移り、商工会婦人部のアトラクションを楽しみました。
商工会館は、建設費四千九百四十五万円で、昨年八月に着工し十二月に完成した重量鉄筋三

階建て、延べ面積六百八・七九平方メートル。旧会館を取り壊し新築したもので、一階が駐車場、二階が事務室、第一、第二相談室、記帳指導室、青年・婦人部室など、三階に大研修室、青年・婦人研修室などがあります。



▲盛大に完成を祝った式典

となりました。
伊達西部土地改良区では、これを記念し、桑折町北半田字下ノ原の広城農道沿いに記念碑を建立しました。
三月二十五日、午前十時から記念碑の除幕式が行われ、県、土地改良区関係者約百五十名が出席しました。
碑は高さ三・五メートル、幅二・四メートルの白、黒みかげ石を使ったもので、費用は六百八十三万円。碑の表側には「川西を拓く」と亀岡高夫代議士が揮毫した文字、裏側には工事・換地評価・用排水調整委員ら事業に関係した三百四十人の名前が刻まれています。

記念碑が完成

伊達西部土地改良区

県営は場整備事業として、昭和五十年から行われてきた桑折国見・梁川の三町にまたがる地域、八百四・三ヘクタールのほ場整備の完成が近づき、あとは農道の改良など一部を残すだけ

広域ほ場整備 完成を祝う

- 十年の年月踏みて業成りぬ
西根の沃野容姿新たに
○天地と共に千萬代稔るらむ
大いなる業、沃野整備
○開闢の大業成りたる欣びを
碑に託し 後古に伝ふ
○半田嶺緑は映えて広花と
見下す沃野に霞漂ふ

伊達西部土地改良区総代

齋藤 善吉

編集日記

○桜前線が北上を続け、十四日には、福島市でも開花宣言がありました。この広報くのみが届く頃には、ちょうど見頃となっていることでしょう。
○ところで、春を告げる花は、桜や桃、菜の花などたくさんありますが、今月号の表紙に使用したカタクリも、その一つです。カラーでないのが残念ですが、赤紫色の花がきれんに咲き誇り、山野に春の訪れを感じさせてくれました。かつては、各地に群生したこの花も、いまでは山間部や人里離れた丘陵地でないといえませんが、ぜひ、保護していきなさいませぬ。 S



▲厳粛に行われた除幕式